

第75回 全国学校薬剤師大会

in 神奈川



期日

2025年 **11月20日** 木

会場

ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
横浜市西区みなとみらい1-1-1

特別
講演

製薬・製菓を営む外郎家650年の歴史と未来
— 日本の文化を励みに時代を越えた恩返し —

講師

二十五代
外郎 藤右衛門

主催：公益社団法人日本薬剤師会・公益社団法人神奈川県薬剤師会

講師

二十五代

ういろう とうえもん
外郎 藤右衛門

演題



昭和37年3月生まれ。成蹊大学経済学部卒業後、約20年の銀行勤務を経て、2004年に外郎家後継者指名を受けて本家に入る。2007年に横浜薬科大学入学、2013年に同大学卒業、薬剤師国家試験合格。2017年11月、名跡「藤右衛門」を襲名。

●主な役職

株式会社ういろう 代表取締役
神奈川県公安委員会委員
(一社)小田原市観光協会会長

小田原市文化振興審議会委員
(公社)神奈川県観光協会理事
横浜薬科大学客員教授

●趣味 ゴルフ、流鏑馬

●外郎家略歴

1368年元朝滅亡時に渡来した陳延祐ちんえんゆうが元朝の役職「礼部員外郎」の一部を用いて、日本に帰化した折に、陳外郎と名乗ったことに始まる。医薬並びに大陸の知識に長けたことから足利幕府で重用され、約百年京都で活躍した。1504年に北条早雲に招かれ小田原に移住し北条氏五代の領国経営の一役を担い、江戸時代は東海道小田原宿の宿老として街づくりに励む。650年間二十五代に亘り一子相伝で受け継がれる妙薬「透頂香」とうちんこうとお菓子はどちらも「ういろう」の愛称で呼ばれている。昔ながらのモノづくりと対面販売に徹し、関連する文化を励みに、歴史を重ねている。

「製薬・製菓を営む外郎家650年の歴史と未来」
— 日本の文化を励みに時代を越えた恩返し —

タイムスケジュール

16:00

17:00

17:55

18:55

19:15

20:45

受付

開会式・表彰式

特別講演

閉会式・休憩

懇親会